

大消費地で、白神青果物のトップセールスを実施



白 神ねぎ・白神山うど・白神みょうがなどの産地として、白神青果物は市場から高く評価されています。JAと行政は更なるブランドイメージ強化を目的に、10月11日に東京都大田市場で、トップセールスを実施しました。

トップセールスには、袴田組合長、齊藤能代市長、佐々木藤里町長のほか、全農あきたや当JAねぎ部会役員等が参加し、市場関係者に対して、白神青果物の質の高さをPRしました。特に白神ねぎにおいては、産地として確立するため、販売高10億円



△横浜丸中青果株で意見交換等を行う

達成を目指して、仲卸各社に対して協力を要請。また白神ねぎを使った「ねぎ汁」の無料提供を行うと、用意した250食が30分で無くなる好評ぶりです。白神ねぎの美味しさを広くアピール出来ました。

その後、横浜丸中青果株式会社等に赴き、市場情勢について調査を行いました。ねぎにおいては、有力産地の作付が減少傾向にある中で、東北産地の増量に期待をのぞかせていました。今後は2億円を目標に、出荷量の増加をお願いされるなど、実り多いトップセールスとなりました。